

2003年8月29日

日本図書館情報学会

会長 上田修一

第51回研究大会実行委員会

実行委員長 寺田光孝

第51回日本図書館情報学会研究大会・臨時総会

ご案内

会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、先の会報においてご案内申し上げましたように、第51回研究大会・臨時総会を下記の要領で開催いたします。

今回の研究大会は、例年通りの研究発表に加えて、本学会設立50周年を記念した行事を企画いたしました。研究大会第一日目には、記念式典を行うとともに、ミシガン大学情報学部のジョアン・C・デュランス教授を迎えて、記念講演を行います。「危機を機会に転ずる：米国における図書館情報学教育の再構築」("Crisis as Opportunity: The Shaping of Library and Information Science Education in the United States")と題した講演では、20世紀の図書館やライブラリスクールをめぐる状況の変化を整理した上で、21世紀の図書館情報学教育についてお話しいただく予定です。また、研究大会第二日目の午後には、記念シンポジウムとして「これからの図書館情報学研究と教育」と題した討論を行います。図書館情報学研究と教育の今後について複数の大学の現状を報告いただいたうえで、その方向性を検討する予定です。

研究発表も、若手研究者や図書館員を含む会員諸氏より多数の申し込みをいただいております。発表内容も多彩であり、最新の研究動向に接するよい機会であるとともに、今後の図書館情報学研究を占うことのできるものであると考えております。

なお、大会第一日目の研究発表終了後、オークラフロンティアホテルつくばに場所を移しまして、懇親の場を設けます。会員同士の交流の場、意見交換の場とできるよう、準備万端整えてお待ちしております。合わせて、こちらにもぜひご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

研究大会の案内は、<http://www.slis.tsukuba.ac.jp/jslis51/>でもご覧いただけます。

記

日時 2003年10月25日(土)、26日(日)

会場 筑波大学 春日キャンパス

(〒305-8550 茨城県つくば市春日 1-2)

1.日程

【第1日】10月25日(土)

受付	9:30 -	情報メディアユニオン 1F 入口
研究発表	10:00 - 12:00	情報メディアユニオン 2F、3F
昼休み	12:00 - 12:50	
研究発表	12:50 - 14:50	情報メディアユニオン 2F、3F
記念式典	15:00 - 15:30	春日キャンパス講堂
記念講演	15:40 - 17:00	春日キャンパス講堂
祝賀会	18:00 - 20:00	オークラフロンティアホテルつくば
企業展示	10:00 - 18:00	情報メディアユニオン 1F、2F
特別展示	13:00 - 18:00	情報メディアユニオン 1F

【第2日】10月26日(日)

受付	8:30 -	情報メディアユニオン 1F 入口
研究発表	9:00 - 12:15	情報メディアユニオン 2F、3F
昼休み	12:15 - 13:00	
臨時総会	13:00 - 14:00	春日キャンパス講堂
記念シンポジウム	14:00 - 17:00	春日キャンパス講堂
閉会式	17:00 - 17:10	春日キャンパス講堂
企業展示	9:00 - 17:00	情報メディアユニオン 1F、2F
特別展示	13:00 - 17:00	情報メディアユニオン 1F

2.申込要領

【申込書】

同封の「申込書」(私製ハガキ)に所定の事項を記入し、9月30日(火)までに50円切手を貼付の上、ご返送願います。

【振込】

同封の「郵便振替用紙」に記入し、9月30日(火)までに、お振込願います。

口座番号 郵便口座 00120-7-388380

加入者名 第51回日本図書館情報学会研究大会事務局

【参加費・祝賀会費】

<参加費>	正会員	4,000円	学生会員	1,000円	非会員	6,000円
<祝賀会費>	正会員	5,000円	学生会員	3,000円	非会員	5,000円

【資料の申込】

研究大会に参加されない会員で、資料(「研究大会発表要綱」)をご希望の方は、同封の「申込書」(私製ハガキ)でお申しいただき、「郵便振替用紙」にて、2,500円(送料共)をお振込ください。

【昼食】

第1日、第2日ともお弁当を販売いたしますので、ご入用の方は「郵便振替用紙」の昼食欄(土日別)にチェックをつけた上で、代金800円/日をお振込ください。もしくは、近隣の食堂をご利用ください。大学の食堂は営業しておりませんので、ご注意ください。

【宿泊】

大会事務局では会場最寄のホテルに大会参加者向けとして 85 室確保し、割引料金を設定してもらいました。9月15日までに、電話またはFAXにて直接ホテルにお申し込みください。

オークラフロンティアホテルつくば

TEL 029-852-1112 FAX 029-852-5623

シングル - 本館 9,800 円, エポカル (別館) 9,000 円 ツイン - 本館 18,000 円

(以上は1室あたりの料金で、朝食・税金・サービス料を含みます)

- ・予約時には日本図書館情報学会研究大会の参加者であることを申し出てください。
- ・期限以前でも大会向けの客室予約枠を使い切った時点で受付が終了します。
- ・予約受付や支払いなどに大会事務局は一切関与しておりません。

会場周辺にはこの他にも数件ホテルがありますが、そちらの手配は、各自でお願いいたします。

3.研究発表

【第1日】10月25日(土)

第一部会：情報メディアユニオン 2F メディアホール

第二部会：情報メディアユニオン 3F 共同研究会議室 1

第三部会：情報メディアユニオン 3F オープン型共同研究スペース

	第一部会	第二部会	第三部会
10:00-10:30	鴫田拓哉(筑波大学図書館情報メディア研究科博士後期課程) 電子資料の保存用メタデータの特性と現状	河西由美子(東京大学大学院学際情報学府博士課程) 教育用検索支援インタフェース(CASSYS)の開発とウェブ検索初心者の検索過程に関する研究	石川敬史(工学院大学図書館) 長野県のPTA母親文庫の評価に関する研究:「読書普及活動研究委員会報告書」(1981)を中心に
10:30-11:00	山中秀夫(天理大学総合教育研究センター、総合研究大学院大学数物科学研究科情報学専攻) 宮澤鞆(国立情報学研究所) 日本古典籍の総合目録構築に関する考察	松田ユリ子(神奈川県立大和西高等学校) 学校図書館におけるメディア・リテラシーの現れ方 司書と生徒の会話を手がかりに	菅野育子(愛知淑徳大学文学部図書館情報学科) 図書館資料と博物館資料の識別方法における違いとその背景

11:00- 11:30	谷口祥一(筑波大学図書館 情報学系) 根拠の記録を伴う書誌記 述法	河村芳行(北海道武蔵女子 短期大学) 都市型公共図書館における 登録者の図書館利用行動 - 北広島市図書館登録者 調査を事例として -	曹在順(東京大学大学院教 育学研究科) 1950年代韓国における図書 館学の導入過程:アメリカの 教育援助
11:30- 12:00	岸田和明(駿河台大学、国 立情報学研究所)、神門典 子(国立情報学研究所)、 栗山和子(白百合女子大 学)、江口浩二(国立情報 学研究所) 言語横断検索技法の性能 比較:NTCIRによる実証分 析	泉山靖人(東北大学大学院 教育情報学研究所) 学校図書館に対する外部 サポート - 連携体制の構 築に着目して -	前田稔(筑波大学大学院博 士課程) 思想の自由を基点とした 図書館の自由の体系化
12:50- 13:20	小島浩之(東京大学経済学 部資料室)、前田朗(東京 大学経済学部図書館) キーワード(専門用語)自動 抽出システムの構想とその 展開	篠原由美子(図書館情報大 学大学院) 1949年学校図書館基準の 作成の背景と改訂	石川亮(実践女子短期大学 図書館学課程) 日本学術会議の学術情報 体制への貢献 文系学術 図書館の初期と現状 -
13:20- 13:50	竹内比呂也(千葉大学文学 部)、土屋俊(千葉大学文 学部)、尾城孝一(千葉大学 附属図書館) 電子雑誌に掲載された論文 へのアクセス状況:ログデー タに基づく予備的分析	若松昭子(琉球大学教育学 部) 司書教諭が行う読書指導の 独自性:国語教育における 読書指導との違いから	山口洋(中央大学文学部非 常勤講師) 唐代の木版印刷について
13:50- 14:20	池内淳(大東文化大学文学 部) 公共図書館の最適供給	矢野光恵(広島大学大学 院・研究生) 学校図書館の活性化にむ けた校長の課題意識--活 性化を阻む課題と取り組み の方向性を中心に--	志保田務(桃山学院大 学)、北克一(大阪市立大 学) 戦前期における大学等の総 合目録/目録規則策定に関 する史的考察

14:20-14:50	影浦峽(国立情報学研究所 人間・社会情報研究系) 印刷 / 出版物世界の形式的構成を巡って	野口武悟(筑波大学大学院 図書館情報メディア研究科 博士後期課程) 盲学校図書館における地域の視覚障害者への図書館サービスの構想と展開 - 「学校図書館法」成立前後から1960年代の検討を通して -	伊藤真理(愛知淑徳大学)、安藤友張(名古屋芸術大学 附属図書館) 楽譜資料検索過程に関する利用者調査
-------------	--	--	---

【第2日】10月26日(日)

第一部会：情報メディアユニオン 2F メディアホール

第二部会：情報メディアユニオン 3F 共同研究会議室 1

	第一部会	第二部会
9:00-9:30	大場博幸(亜細亜大学非常勤講師) 暗黙の選択基準：市町村立図書館における新聞・雑誌所蔵の優先順位	春田和男(筑波大学大学院図書館情報メディア研究科博士後期課程) 日本図書館協会の組織 - その現状認識と改革論 -
9:30-10:00	佐藤義則(山形県立米沢女子短期大学)、永田治樹(筑波大学図書館情報学系) 大学図書館のサービス品質評価：フォーカス・グループ・インタビューによる分析	金恵京(図書館情報大学情報メディア研究科) 韓国における公共図書館サービスに関する研究動向 - 1960年代から1990年代まで -
10:00-10:30	辻慶太(国立情報学研究所 人間・社会情報研究系)、芳鐘冬樹(大学評価・学位授与機構 評価研究部) 専門用語として普及しそうな語の自動抽出	平久江祐司(筑波大学図書館情報学系) 学校区における図書館メディアプログラム・コーディネーターの役割と意義：米国ワシントン州の学校区を中心に
	休憩	休憩
10:45-11:15	三輪眞木子(メディア教育開発センター 研究開発部)、神門典子(国立情報学研究所) 我が国における図書館情報学研究の動向 -- 最近の手法と理論	兎内勇津流(北海道大学スラブ研究センター) NII総合目録データベースにおける著者名典拠ファイルの形成過程

11:15-11:45	芳鐘冬樹(大学評価・学位授与機構評価研究部)、辻慶太(国立情報学研究所人間・社会情報研究系) 共著傾向の時系列変化に関する分野間比較	中村百合子(東洋大学非常勤講師) 1940年代の米国の学校図書館：職員制度に関する議論に注目して
11:45-12:15	逸村裕(名古屋大学附属図書館研究開発室)、秋山晶則(名古屋大学附属図書館研究開発室)、石川寛(名古屋大学附属図書館研究開発室)、河合正樹(インフォコム)、長屋隆幸(愛知県立大学大学院)、船戸公子(岐阜女子大学地域文化研究所)、若松克尚(愛知淑徳大学大学院) 電子図書館化を通じての伊藤圭介文庫世界の再構成	古賀崇(東京大学大学院教育学研究科) Government speechとしての図書館に関する一考察

4. 記念式典 (15:00 - 15:30 於：春日キャンパス講堂)

学会創立 50 周年を記念して式典を行います。日本図書館情報学会会長よりご挨拶を申し上げるほか、関係諸機関よりご祝辞をいただきます。

5. 記念講演 (15:40 - 17:00 於：春日キャンパス講堂)

講演者：ジョアン・C・デュランス(Joan C. Durrance, M.S., Ph.D.)
ミシガン大学情報学部教授

講演者略歴：公共図書館が市民運動の情報ニーズにどのように対応しているかを分析した著作 Armed for Action: Library Response to Citizen Information Needs (Neal-Schuman, 1984)で注目されて以来、一貫してコミュニティ情報や市民の情報ニーズに関する研究の第一人者として活躍している。また、1996-1997 年度に全米図書館情報学教育協会(ALISE)会長を務めるとともに、1999-2000 年に行われた図書館情報学教育の全国調査 KALIPER の諮問委員会委員長を務めた。

演題：「危機を機会に転ずる：米国における図書館情報学教育の再構築」

("Crisis as Opportunity: The Shaping of Library and Information Science Education in the United States")

講演の概要：20 世紀初頭、カーネギー財団のフィランソロピーが多数の公共図書館を生み出すことにより図書館員養成に変革が迫られた。これに対応すべくウィリアムソン報告書が出され、それに基づいた専門職教育を確立する制度改革が行われた。20 世紀末の情報技術革命は再度図書館情報学教育に大きな危機をもたらしつつある。これに対処すべく、個別の大学毎にさまざまな取り組みがなされ、また全米的な規模でも KALIPER をはじめとして検討が行われた。これらの動きを整理し、21 世紀の図書館情報学教育を展望する。

講演者紹介：根本彰（日本図書館情報学会副会長）、質疑通訳：宮部頼子（立教大学教授）

6.祝賀会 (18:00 - 20:00 於：オークラフロンティアホテルつくば)

学会創立50周年を記念して祝賀会を行います。祝賀会会場への移動のための送迎バスは、情報メディアユニオン前を17:30ごろ出発しますので、ご利用ください。

7.臨時総会 (13:00 - 14:00 於：春日キャンパス講堂)

研究大会の第2日目に、講堂にて臨時総会を開催いたします。なお、総会の議事終了後、同会場にて2003年度学会賞ならびに奨励賞の授与式を行ないます。

- 議事
1. 2003年度定例(通信)総会の議案投票結果について
 2. その他

8.記念シンポジウム (14:00 - 17:00 於：春日キャンパス講堂)

テーマ『これからの図書館情報学研究と教育』

電子化の進行、特にインターネットの普及による情報基盤の変化や、不況や行政改革に伴う経営環境の変化などによって、図書館が大きく変わりつつある中で、図書館情報学の研究と教育も、そのあり方が改めて問い直されている。従来から繰り返し指摘されてきた、司書・司書教諭資格と現場との関わりといった永年の課題が解消されないままである中で、新たに、高度職業人の養成なども課題とされるようになってきた。さらに、自立した研究・教育分野として、他分野との関係や、大学の経営戦略上の位置といった、外部との関わりに関することも、課題となっている。

学会創立50周年を記念する今回のシンポジウムでは、わが国における図書館情報学の現状と将来に関連して、特に大学院レベルの研究と教育に焦点を合わせ、パネリスト諸氏に所属大学の現状と将来展望を報告していただく。また、フロアを交えた討論により、研究者の育成、研究活動の振興、高度職業人の養成といった課題に図書館情報学がどのように応え、内外の環境変化に対応するべきかについて考えたい。

パネリスト(五十音順): 上田修一(慶應義塾大学)

植松貞夫(筑波大学)

川崎良孝(京都大学)

三浦逸雄(東京大学)

コメンテーター: 根本 彰(東京大学)

司会・進行: 田村俊作(慶應義塾大学)、岸田和明(駿河台大学)

9.展示・その他(情報メディアユニオン1F、2F)

貴重書特別展示: 粘土板、パピルス、甲骨文、竹簡、貝多羅葉など東西古代の記録媒体から、『百万等陀羅尼』、ゲーテンベルクの『聖書』一葉や版木などの印刷関係資料、さらには現代の記録媒体である磁気テープ、フロッピーディスクなどにより記録メディアの発達を示すとともに、デイドロ等の『百科全書』や『ブリタニカ』初版、パンクックの『系統的百科全書』など百科事典類を中心とした本学の貴重書を展示する。併せて、古代から現代までの図書館像をパネルで示す。

企業展示: 図書館情報学関連システム・書籍等の展示を行う。

なお、大会期間中、春日キャンパスにある図書館情報学図書館は自由にご覧いただけます。

10.会場へのアクセス

高速バス

東京駅八重洲南口より「つくばセンター」行き高速バス 終点下車（約 65 分） 徒歩 10 分
羽田空港より「つくばセンター」行き高速バス 終点下車（約 120 分） 徒歩 10 分

鉄道

JR 常磐線ひたち野うしく駅下車

駅東口「筑波大学中央」または「建築研究所」行きバス（約 30 分） 吾妻小学校前下車
徒歩 1 分

または 駅東口「つくばセンター」行きバス（約 30 分） 終点下車、徒歩 10 分

JR 常磐線土浦駅下車

駅西口「筑波大学中央」行きバス（約 30 分） 吾妻小学校前下車、徒歩 1 分

会場周辺案内図

